



令和6年6月7日（金）15:00～16:40 市役所 正庁

【実践発表】 郡山市立柴宮小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～



今年度、柴宮小学校へは31か所の幼児教育施設から新入学児童が入学しました。同じ幼稚園から入学する子が多い中、施設から一人で入学する子も多いので、新しい環境で安心して過ごせるよう、視覚的なサポートや交流活動等を行っています。学習面では生活科を中心とした学習から関連的な指導で教科の授業へと移行し、学習意欲に繋げています。食育指導も行っており、上記中央写真は栄養教諭から、給食食材のグリーンピースの栄養や取り方について教わり、児童がサヤから豆を取り出しているところです。

多くの幼稚園、保育所から入学していますが、幼保でしっかりとアプローチカリキュラムを実践しているので、そこで培った学びの芽が成果として生かされていること、各々が違った経験をして入学しても、様々な場面で経験が生かされていることを学びました。なるほど、新しい友達との出会いは、学びに対しても相乗効果が表れるのだと気付きました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 柴宮小学校の発表について

- ・入学児童を温かく迎える掲示物や視覚的サポート等で、不安や戸惑いなく安心して学校生活スタート出来ていました。また、環境だけではなく一人一人に対しての丁寧な関わりが大事だと思いました。
- ・小学校での情報機器を使った指導について、幼稚園や保育所職員は、タブレット等を具体的にどのような方法で活用しているかを知ること、就学する子どもたちに小学校のイメージを伝えやすいと思います。
- ・スタートカリキュラムの成果と課題を明確に捉えており、今後の指導に生かされると思います。

☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・実践発表にありましたように、支援を要するお子さんについては、入学以降に適切な支援や学習環境を提供するうえでも、幼保の段階から、保護者と相談して必要に応じて関係機関と連携した適切な支援が図れると良いと思います。

《参加者からのアンケートから》

- ・今回参加させていただき、自分が担任をして卒園させたお子さんの成長した姿を見ることができて安心しました。とても嬉しかったです。（幼稚園：参加者）
- ・幼稚園、保育所、小学校の先生方や総合教育支援センターの先生方と直接お話ができました。この協議会はお互いのことを知る良い機会なので、参加して良かったです。（小学校：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。